

にくけん通信

令和2年度第7号

- 令和元年度（H31.4.1～R2.3.31）に全国でと畜され、枝肉情報データベースで収集された267,378頭のうち、と畜月齢が一定期間内の253,906頭について、枝肉情報が公開されました。
- 本県は、生産県別の雌雄総合で9番目で、昨年度より一つランクアップしており、繁殖牛群の改良が進んでいます。
- また肥育県別でも去勢総合で7番目（昨年度と同じ）で、常陸牛の品質の良さを証明しています。
- 本県の和牛力は、全国の生産県、肥育県と比較して、一定のレベル以上にあることが実証。

＜生産県別＞

序列	前年	県名	去勢			雌		
			枝肉重量	ロース芯	BMSNo.	枝肉重量	ロース芯	BMSNo.
1	1	宮城県	550.3	69.6	8.13	464.6	65.7	8.06
			1	1	2	1	1	2
			1			1		
2	2	山形県	525.1	67.1	8.13	449.2	64.1	8.11
			5	4	3	13	3	1
			2			2		
3	4	福島県	535.0	67.5	7.80	448.5	63.6	7.88
			2	3	9	14	4	3
			4			3		
9	10	茨城県	514.4	66.1	7.85	448.1	62.9	7.42
			11	7	7	15	9	11
			7			11		
全国平均		R1年度	509.6	64.8	7.74	450.7	62.2	7.31
		H30年度	506.1	63.9	7.40	446.5	61.4	7.03

＜肥育県別＞

序列	前年	県名	去勢			雌		
			枝肉重量	ロース芯	BMSNo.	枝肉重量	ロース芯	BMSNo.
1	1	静岡県	549.2	69.3	8.13	489.5	69.3	8.28
			3	3	4	2	1	4
			3			1		
2	2	京都府	552.7	71.6	8.07	490.0	66.9	7.32
			2	1	5	1	2	15
			2			2		
3	3	宮城県	545.5	70.6	8.46	455.7	64.8	7.94
			4	2	1	12	6	8
			1			5		
15	15	茨城県	517.7	66.1	7.91	447.9	62.0	6.98
			11	13	11	18	17	27
			7			21		
全国平均		R1年度	509.6	64.8	7.74	450.7	62.2	7.31
		H30年度	506.1	63.9	7.40	446.5	61.4	7.03

- 生産県別、肥育県別の集計は、生産（出荷）頭数が1,000頭以上の道府県（生産別：24道府県、出荷別：36道府県）を対象に当所で序列をつけます。
- 生産県：県内で生まれた子牛が出荷先で肥育された成績で、繁殖牛群や種雄牛の育種価のベースとなるデータです。産地間の繁殖牛群のレベルを数値で比較することができます。
- 肥育県：県内で肥育され、と畜された牛の成績です。各県間で肥育農場の肥育技術（飼養管理、牛の選定技術など）を比較することができます。
- 繁殖牛群の改良を進めるためには、**輪番（系統間）交配を正しく行い、近交係数を上げないことが重要**になってきます。
- 昨年は、能力の高い種雄牛が相次いで他界し、優良な精液の供給がストップするなど、種雄牛の選定が難しくなっています。
- また、近年は、種雄牛のハイブリッド化が進展していますので、交配には注意が必要です。

＜系統別種雄牛育種価ベスト3＞

総合序列	系統	種雄牛	飼養地	育種価			4代祖			
				枝肉重量	ロース芯	脂肪交雑	父	母の父	母の母の父	母の母の母の父
1	気高系	勝早桜5	北海道	106.1	20.4	2.54	勝忠平	安平	隆桜	福茂
2		北平関	茨城県	141.3	12.1	2.60	北国関7	勝忠平	金幸	紋次郎
3		幸紀雄	鹿児島	65.0	16.1	2.70	百合茂	金幸	安平	第20平茂
12	茂金系	茂洋	宮城県	53.5	16.5	2.24	茂勝	系晴波	系花	第7系桜
16		茂光洋	茨城県	50.5	12.3	2.52	茂洋	北国7の8	紋次郎	第20平茂
27		百合宏	茨城県	44.1	11.4	2.36	茂洋	百合茂	北国7の8	寿高
8	田尻系	鳩安福	茨城県	37.8	16.8	3.03	安福久	平茂勝	安福165の9	北国7の8
10		菊福秀	岩手県	45.8	15.1	2.48	菊谷	福桜	系秀	第20平茂
13		日出丸105	茨城県	51.1	13.3	2.48	北平安	平茂勝	安福	花桜
6	藤良系	茂晴花	改良事	52.8	14.6	2.60	平茂晴	第1花園	北国7の8	谷福土井
11		美国桜	鹿児島	38.9	20.7	2.42	第1花園	美津福	紋次郎	系光
14		花園安福	北海道	111.7	13.3	2.05	第1花園	安福	第7系桜	隆晴

※ 後代数が15頭以上で育種価の正確度が高い種雄牛から、系統別に総合序列が高い順に上位3頭を選んでいます。

本県の種雄牛は、これまで2代、3代と優良な血統が繋がったことがありません。そのため、当所では、「北国関7」の息牛「北平関」について10月から精液の配布をはじめます。当種牛は枝肉重量の育種価(141.3kg)が高く、増体系の牛を目指することができます。特に、田尻系、藤良系などで、枝肉重量の育種価が低い牛へ交配することで、後継牛の改良をすすめることができます。また、当所では、「茂光洋」号の息牛、異母3兄弟（「那珂茂晴」、「茂照国」、「茂忠6」号）についても、現在、改良組合の協力のもと、後代検定牛の育成等を行っています。

和牛の育種・改良に県種雄牛の精液を積極的に活用し、常陸牛の歴史を共につむぎましょう！

茨城県畜産センター肉用牛研究所 TEL 0295-52-3168

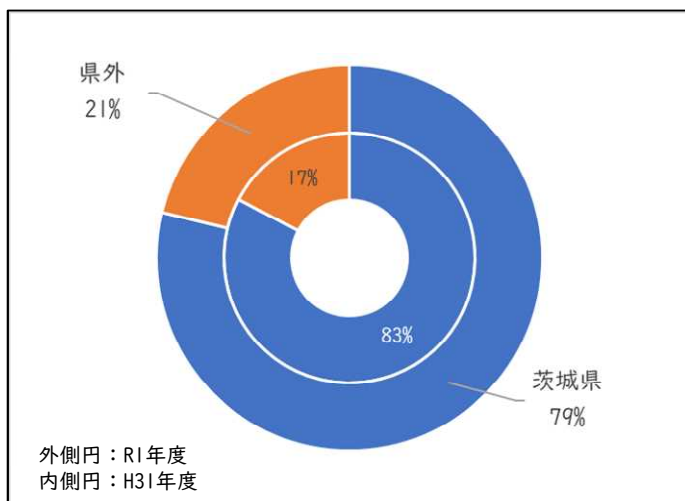
≪生産県別枝肉成績≫

序列	前年	県名	去勢			雌		
			枝肉重量	ロース芯	BMSNo.	枝肉重量	ロース芯	BMSNo.
1	1	宮城県	550.3	69.6	8.13	464.6	65.7	8.06
			1	1	2	1	1	2
			1	1	2	1	1	2
2	2	山形県	525.1	67.1	8.13	449.2	64.1	8.11
			5	4	3	13	3	1
			2	2	3	2	2	1
3	4	福島県	535.0	67.5	7.80	448.5	63.6	7.88
			2	3	9	14	4	3
			4	3	9	14	4	3
4	5	鳥取県	514.9	68.9	8.61	444.1	64.4	7.79
			10	2	1	19	2	4
			3	3	6	6	6	4
5	8	長野県	516.1	64.9	7.92	457.5	62.6	7.47
			8	11	5	6	12	9
			6	6	8	8	8	9
6	6	宮崎県	510.6	66.1	8.08	455.3	62.7	7.52
			14	8	4	8	11	8
			8	8	4	8	11	8
7	7	秋田県	532.1	63.5	7.79	460.2	62.0	7.58
			4	19	10	3	15	6
			11	11	10	4	15	6
8	12	栃木県	532.2	66.5	7.73	445.5	62.6	7.53
			3	6	13	17	13	7
			5	6	13	12	13	7
9	10	茨城県	514.4	66.1	7.85	448.1	62.9	7.42
			11	7	7	15	9	11
			7	7	7	11	9	11
10	13	北海道	511.3	64.8	7.56	460.3	63.0	7.26
			13	12	18	2	6	16
			16	12	18	2	6	16

≪肥育県別枝肉成績≫

序列	前年	県名	去勢			雌		
			枝肉重量	ロース芯	BMSNo.	枝肉重量	ロース芯	BMSNo.
1	1	静岡県	549.2	69.3	8.13	489.5	69.3	8.28
			3	3	4	2	1	4
			3	3	4	2	1	4
2	2	京都府	552.7	71.6	8.07	490.0	66.9	7.32
			2	1	5	1	2	15
			2	1	5	1	2	15
3	3	宮城県	545.5	70.6	8.46	455.7	64.8	7.94
			4	2	1	12	6	8
			1	2	1	5	6	8
4	4	山形県	521.5	66.4	7.97	454.8	64.9	8.02
			10	9	9	13	4	6
			6	9	9	13	4	6
5	7	香川県	509.0	67.8	8.22	437.8	65.4	7.99
			19	5	3	28	3	7
			5	5	3	28	3	7
6	17	群馬県	512.8	69.2	7.99	463.0	63.7	7.01
			14	4	8	8	8	25
			4	4	8	8	8	25
7	9	鳥取県	515.6	66.6	7.71	434.0	63.9	9.25
			12	8	18	30	7	1
			9	8	18	30	7	1
8	6	三重県	510.6	61.4	7.85	461.5	63.6	8.46
			16	30	15	9	9	2
			22	30	15	9	9	2
9	5	滋賀県	536.4	63.2	7.63	475.5	61.9	7.72
			5	23	21	3	19	10
			17	23	21	3	19	10
10	11	長野県	527.1	65.0	7.62	467.5	62.7	7.15
			8	17	22	5	12	18
			16	17	22	5	12	18
15	15	茨城県	517.7	66.1	7.91	447.9	62.0	6.98
			11	13	11	18	17	27
			7	13	11	18	17	27

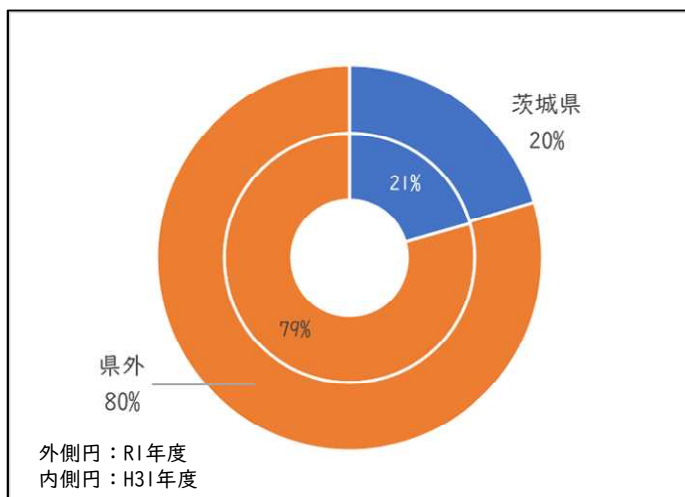
≪県内で生産された子牛の肥育県≫



	茨城県	山形県	栃木県	千葉県	福島県	群馬県	その他
R1	1,834	161	109	92	53	29	50
H30	1,723	111	103	66	19	17	44
増減	111	50	6	26	34	12	6

- 生産子牛が増加しているため、県内、県外ともに頭数が増加しています。
- 県内の肥育農場での、肥育頭数は増加していますが、県外への出荷が4%増加しています。
- 県外の肥育地の変動はありませんが、昨年度に引き続き、山形県、栃木県への移動が多くなっています。

≪県内で肥育された牛の生産県≫



	茨城県	北海道	栃木県	岩手県	福島県	鹿児島県	その他
R1	1,834	2,638	1,337	661	634	539	1,503
H30	1,723	1,898	1,547	409	580	703	1,365
増減	111	740	-210	252	54	-164	138

- 県内産牛の、肥育頭数は増加していますが、県外導入の比率も1%増加しています。
- 導入先の産地に大きな変化があります。
- 北海道(740頭)、岩手(252頭)、青森(141頭)などからの導入が増加しています。
- 一方、栃木産が210頭減少、鹿児島を含む九州・沖縄産が447頭減少しています。